

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎ガイダンス ○日本の美術史	2	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・日本美術史の伝統や良さ、美しさを理解	日本の美術の仏像の伝統的で受け継がれた、良さや美しさを理解する。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしている。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもとうとしている。
◎絵画分野 ○水墨画	7	・単色で表現するシンプルかつ奥深い世界を知り、自由に独創的な水墨画を描くことができる。	・水の加減から生まれる濃淡やにじみ、ぼかしなどによる奥行、質感など筆づかいについて理解している。	・表現したいもののイメージに沿って濃淡や線などの効果を考え、構想を練ったり、単色で表現できる良さを発見している。	・墨の表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。
◎工芸分野 ○オリジナルのハンコを作ってみよう（てん刻）	8	・使用する場面や目的を考えながら制作する。 ・材料や用具の特性をいかし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。	・陽刻、陰刻の違い、ハンコの仕組みを理解できる。 ・印刀の正しい扱いを学習し、安全に制作することができる。	・抽象的なものや具象的なものなど自分が興味をもって創造的な形を作成することができる。	・ハンコの歴史や利便性を積極的に知ろうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現する学習活動に取り組むことができる。
◎鑑賞 ○目指せ！仏像マニア	3	・修学旅行に向けて、仏像に関する造形的な特徴（形や色、様式）を学び、仏像のよさや美しさを感じ取る。	・如来、菩薩、明王、天部といった、階段による造形的な特徴を捉えている。	・髪型、表情、装飾品、ポーズから造形的な特徴を感じ取り、形や曲線などの美しさを感じ取ろうとしている。	・日本文化の中での寺や仏像の重要性を感じることができる。文化財の保存についても関心をもっている。
◎彫刻分野 ○アートガラス	10	・素材の良さを感じ取り、生活を彩れるデザインができる。 ・色彩などがもたらす効果や、表現を基に、題材の印象などを全体のイメージで捉えて、創造的に表現することができる。	・アートガラスになる際に反転することなどを理解する。 ・木材の温もりを生かし、彩色や彫刻、ニス塗装など、正しい順序で制作している。	・線の表現や、明暗で細かな変化を実現することを理解できる。 ・線や面、点などで微妙な変化がでることに目を向けている。 ・形から発想したり、意味のある組み合わせを工夫したり、自由なアイデアを大切にしている。	・主体的に表現の幅を広げ、自由なアイデアを広げていこうとしている。
◎鑑賞分野 ○西洋の美術史	5	西洋の絵画や彫刻作品を知り、歴史を踏まえて、平面や造形的な良さや美しさ、伝統美を理解する。	西洋の美術史の良さや美しさを理解し、伝統的な美を知ることができる。	作品を鑑賞し、作家の感情や思いを感じとることができる。 作家によって特徴が異なることを感じ取ることができる。	・美術の鑑賞作品への理解に主体的に取り組む、西洋の美術史の魅力を感じ取ることができる。